柏高SSH2年目の軌跡

我が国の将来をリードする科学技術系人材の育成を目的としたカリキュラムの開発を目指す研究開発指定校として平成二十年度に理数コース・理系部活動を対象に指定を受けたスーパーサイエンスハイスクール事業は二年目を迎えました。

■サイエンス講座から

一年生では『科学入門』（六月・新大理・周藤教授）、『草木が地球を救う』（七月・長岡技大・小笠原准教授）、『小児医療からみた医学』（十月・新大医・内山医学部長）、『ゲノミクスからプロテオミクスへ』（十一月・新潟工科大・斎藤教授）、『数学入門』（十二月・新大理・泉池教授）の各講座を実施。また、本校教員により、『エネルギー科学』、『海の生物』、『DNAの科学』等を実施しました。

二年生では、物質エネルギー系と生命環境系に分け、希望分野をより深く探求する『U講座』を実施しました。本校教員による基礎講義と実験の上に、大学の先生方によるより専門的な講座をもつ形にしました。『超伝導物質を探る』（新大理・山田教授）、『生命科学を変えたPCR』（新大理・上井准教授）（以上第一回）、『カエルが変える生物学（アフリカツメガエルの生物学）』（新大理・前野准教授）、『コンピューターと数学』（上智大理工・角皆准教授）（以上、第二回）。

サイエンス講座

■サイエンスツアー

こうした本校での取り組みとともに、校外でサイエンスツアーとして、大学や研究機関の訪問研修を実施しました。一年生は、筑波大学や、筑波研究学園都市の研究機関での研修。二年生は京都大学、大阪大学や理研（神戸）等を訪問しました。

■高大連携講座

二年生は長岡技術科学大学と新潟大学理学部で各二日間、大学スタッフを講師とした実験講座を実施しました。実験を通した探究姿勢の育成を目標に指導いただきました。

また、一年生は新潟大学理学部で、生物・地学分野の実験講座を実施しました。

これらの上に、一年生は自分達のテーマ研究を進める「実験研究」、二年生は「課題研究」を進めています。

来年八月のSSH全国発表会での発表につながる研究です。

六月には、三年生が昨年から進めてきた「課題研究」の第一回発表会を開きました。

■国際交流

さらに、国際性を高める取り組みとして、日韓の高校生の交流を計画しました。

十二月に六名の生徒を派遣し、ソウル科学高校、ハンソン科学高校の二校を訪問。高大連携講座や佐渡環境講座でのレポートを英文で報告し、生徒間で互いの高校生活などについて意見交換しました。

流暢な英語でプレゼンをする高校一年生や、外国語として日本語を選択している生徒が通訳を介しないで、本校生徒と自由に会話する姿に、韓国の科学教育、外国語教育を再認識し、学ぶことの多い研修となりました。

■サイエンススクール

本校生徒を講師とした中学生対象の科学講座「柏崎サイエンススクール」を今年も実施しました。二中の一年生を対象に、本校二年生が『超伝導現象』について自分たちが学んだことを実験やスライドを用いて解説しました。ともに学ぶことでお互いに理解を深めることができ、中学生、高校生双方に好評です。

理学部実験講座

■スーパー講演会

全校生徒を対象とする事業としてSSHスーパー講演会を開いています。今年度は、浅島誠東京大学名誉教授を講師として、『生き物に学ぶ―先端生命科学を歩く―』の演題で開催しました。発生学の難しい内容もありましたが、多くの困難を乗り越えた先生の長年の研究姿勢に感動し、自らの今後を考えた生徒の感想も多々ありました。

ソウル科学高校での交流会

■SSHを生徒はどうみているか

一年生のアンケートから見てみます。

・僕の知らない世界が広がっていて、とても充実した一年でした。面白そうな実験とかがいっぱいあって「課題研究」で何を選ぶべきか迷う。

・教科書に書かれていることはほんの少しであり、自分達の知っていることはほとんどないと思った。

・様々な実験や経験ができるので非常にうれしいし、どんどん知識を得ているような気がする。

生徒たちも非常に前向きにSSHプログラムに取り組んでいます。

さまざまな分野に多くの人材を送り出している柏崎高校の卒業生の皆さまにも、ぜひSSH事業へのご理解、ご協力をお願いいたします。

（SSH事務局　寺尾）

平成21年春のオーストラリア研修について

昨年三月二十日から三十一日までの十二日間、一年生生徒八名、引率教諭二名で、オーストラリア語学研修に行って参りました。創立百周年記念事業の一環であります本研修の実施にあたり、同窓会よりご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

今回はオーストラリアの東海岸、クイーンズランド州のゴールドコーストで研修が行われました。この時期は晩夏の季節にあたり、日中の気温は三十度近く、半袖でも汗ばむほどの気候でした。また現地は白い砂浜が美しい海岸、緑豊かな平原、野生動物が生息する丘陵地帯があり、近代的な建物と自然の見事な調和を実感することができました。受入校Upper Coomera State Collegeでは、英語を学ぶことはもちろん、同校の生徒と一緒に授業を受けたり、日本の文化を紹介したりといった活動をしてきました。またホストファミリーとの生活を通して、オーストラリアの文化に触れ、コミュニケーション能力を向上させることができたと思います。天候にも恵まれ、また事故や病気といったトラブルもなく、非常に有意義な十二日間だったと感じています。

今年も一年生十二名が同じゴールドコーストでの研修に参加することになっています。現地でしか得ることができないこの貴重な経験を是非してきてほしいと思っています。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

＜研修スケジュール＞

1日目	柏崎から成田空港へ　空路オーストラリアへ
2日目	午前：ブリスベン市内観光　午後：ホームステイ先へ
3日目	終日：ホストファミリーと過ごす
4日目	午前：英語クラス　午後：通常授業に参加
5日目	午前：英語クラス　午後：通常授業に参加
6日目	動物公園・海浜公園ツアーに参加
7日目	午前：英語クラス　午後：通常授業に参加
8日目	午前：英語クラス　午後：小学校を訪問し日本文化を紹介
9日目	ホストファミリーと過ごす　夕方：天体観測ツアーに参加
10日目	終日：ホストファミリーと過ごす
11日目	午前：英語クラス　午後：お別れ会
12日目	空路日本へ　成田空港から柏崎へ

水球の町！柏崎へ

トキめき新潟国体

島岡　清孝

「三重県に勝てる！」国体前日の夕食前、選手の顔を見て直感しました。

翌日から完全ホームの大声援の中、三重県に勝ちベスト8決定、沖縄県に勝ち、宿敵富山県に大逆転勝利と続き、会場の柏崎アクアパークは二時間待ちの行列ができるほどの大盛況となりました。決勝進出をかけた埼玉県、三位決定戦の群馬県には負けてしまいましたが、結果は堂々の二十八年ぶり四位入賞でした。

選手・チームスタッフ全て柏崎出身（選手八名とスタッフは柏高水球部及びOB）という「オール柏崎」で、「水球の町！柏崎」を大々的にアピールできました。

この結果は、小学生の頃からこの国体を目指してきた選手や家族、水泳関係者の努力と県や市・学校等周囲の方々のご支援のおかげと感謝しております。そして、地鳴りのような大声援によって発揮された最高のパフォーマンスと多くの方々と感動や夢を共有できたことが、大きな成果で大変良い経験ができました。新潟地震により幻となった昭和三十九年第十九回新潟国体から四十五年、全国高校総体二連覇をはじめ全国の強豪として活躍した柏高水球は、近年長く低迷期にありました。この間、必死に練習を続けた選手・顧問の努力とOBの献身的な指導があったからこそ、今も「柏崎水球」が続いています。

今夏十五年ぶりに全国高校総体に出場することができました。会場の大阪プールには、関西柏会の皆様が応援・激励に来てくださいました。短い時間でしたが、柏中・柏高同窓会の「絆」と母校・後輩への強い思いを痛感しました。

今年度水球は、全国高校総体出場、国体4位入賞と久しぶりに結果を残すことができました。地元国体の重圧の中、周囲の期待にこたえ結果を残したことは、選手・指導者ともに大きな財産となりました。

しかし、水球のOBがつないでくれた「心」と柏中・柏高同窓会の「絆」をしっかりと伝えられたのか？指導できたのか？と考えるとまだまだ足らない所が多く見受けられます。

今後さらに上位を目指すためにも、「心」と「絆」をしっかりとつなぎ、伝えていきたいと思います。

あのプールサイドの大声援は、我々の宝物であり自慢です。応援ありがとうございました。

㈱新野屋
新野　京一（高22）
柏崎市駅前一―五―十四
TEL㉒二三三七

原酒造㈱
原　吉隆（高28）
柏崎市新橋五―十二

辯護士
髙橋　巽（高15）
事務所
〒951-8141　新潟市関新二丁目一番七三号
新潟ダイカンプラザ遊学館九〇八号
TEL　〇二五―二三三―七七〇〇
FAX　〇二五―二三三―七七〇〇

高鳥技術士事務所
CSP労働安全コンサルタント
高鳥　勉（中41）
〒九四五―〇〇二四　柏崎市橋場町一四―三〇
TEL（〇二五七）二四―一四二三
FAX（〇二五七）二四―一四二三

新沢歯科医院
新澤　秀樹（高22）
柏崎市穂波町二番二号

柏崎日報社
代表取締役
山田　明彦（高18）

郷土のたより
越後タイムス
編集発行人　柴野　毅実（高22）
TEL㉓六三九六　FAX㉓六三九五

佐藤塗料株式会社
代表取締役社長　佐藤　裕幸（高20）
代表取締役会長　佐藤　信義（中39）
柏崎市駅前二丁目一番四三号

辯護士
髙野　毅（高30）
事務所
〒940-0084　長岡市幸町一丁目二番一〇号
高野毅法律事務所
TEL　〇二五八―三五―四四四四
FAX　〇二五八―三五―四四七八

㈱ライブ商事　新車 中古車　販売・整備
代表取締役
品田　優（高16）
柏崎市小金町十一番六七号